

2013年3月期 決算説明会



2013年 5月23日

ユニチカ株式会社

1. 2013年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析(2011→2012)
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況
- ・事業構造改善費用と減損損失

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

1. 2013年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析(2011→2012)
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況
- ・事業構造改善費用と減損損失

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

業績の概要

経済先行き不透明の中、
需要縮小により販売数量
が減少し、減収。

高分子、機能材、繊維
いずれも、販売数量の
減少が減益の主要因。

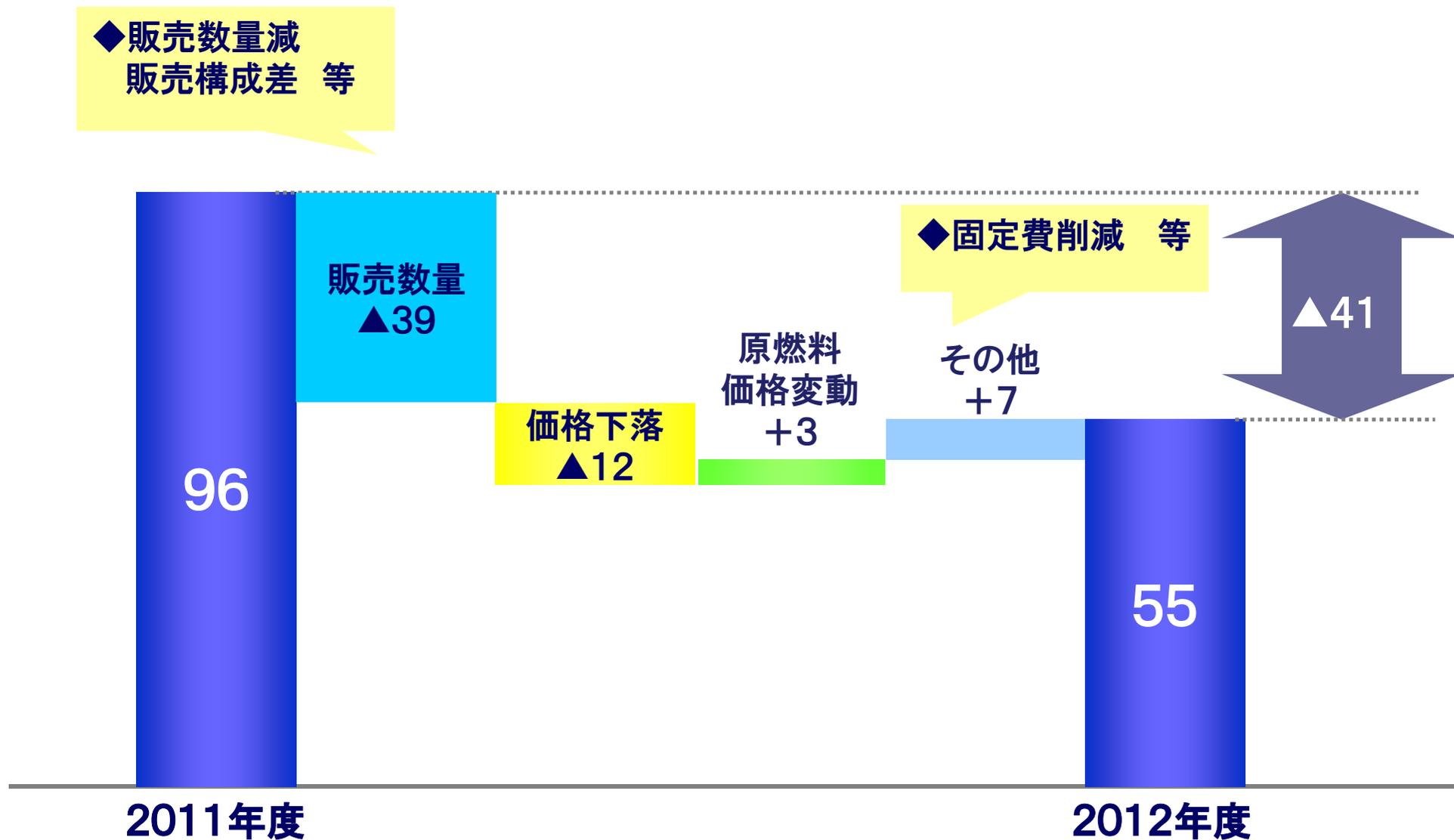
減損損失、事業構造改善
費用等の特別損失、繰延
税金資産の取崩しが当期
純損失の主要因。

連結合計 (金額単位:億円)	2011年度 実績	2012年度 実績	前期比	
			金額	率
売上高	1,747	1,602	▲145	▲8%
営業利益	96	55	▲41	▲42%
経常利益	58	39	▲19	▲33%
当期純利益	13	▲109	▲122	—

セグメント別 (金額単位:億円)	2011年度 実績	2012年度 実績	前期比	
			金額	率
売上高	1,747	1,602	▲145	▲8%
高分子事業	673	612	▲61	▲9%
機能材事業	150	141	▲9	▲6%
繊維事業	767	677	▲90	▲12%
その他	156	172	15	10%
営業利益	96	55	▲41	▲42%
高分子事業	96	70	▲26	▲27%
機能材事業	17	12	▲6	▲33%
繊維事業	7	▲4	▲11	—
その他	8	13	6	76%
消去・全社	▲33	▲36	▲3	—

営業利益変動要因分析(2011年度→2012年度)

(金額単位:億円)



資産・負債・純資産

(金額単位:億円)	2012年3月末	2013年3月末	増減
資産合計	2,685	2,551	▲134
流動資産	1,084	1,003	▲82
固定資産	1,601	1,548	▲53
負債合計	2,363	2,337	▲25
純資産合計	322	213	▲109
株主資本	298	187	▲111
その他の包括利益累計額	▲12	▲9	+4
少数株主持分	37	35	▲2
有利子負債	1,732	1,665	▲67
自己資本比率	10.6%	7.0%	▲3.6%

1. 2013年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析(2011→2012)
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況
- ・事業構造改善費用と減損損失

3. 2014年3月期通期業績予想

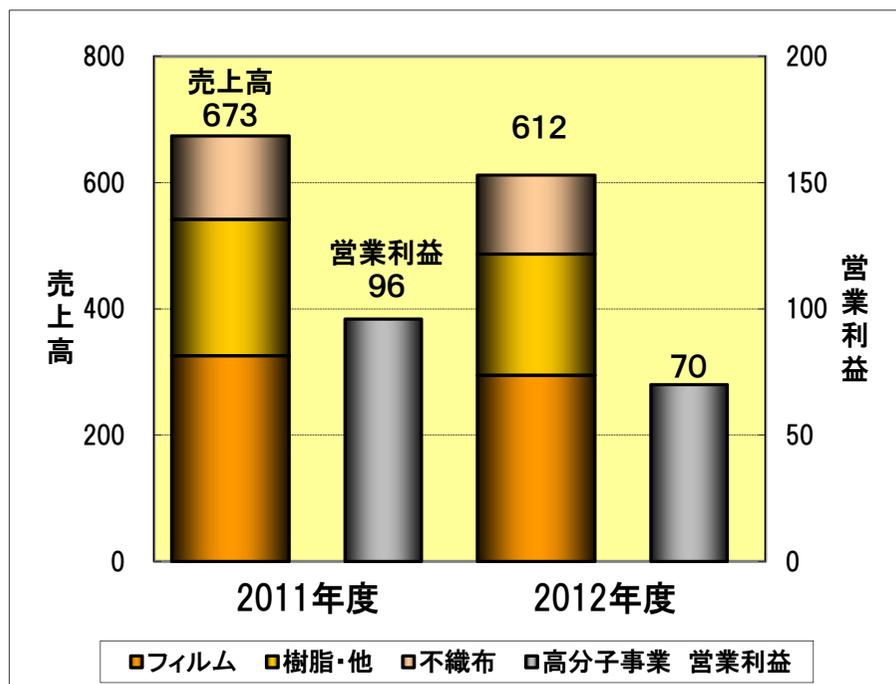
- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

Uポリマー、ポリエステルスパンボンドなど下期後半に復調の兆しあり

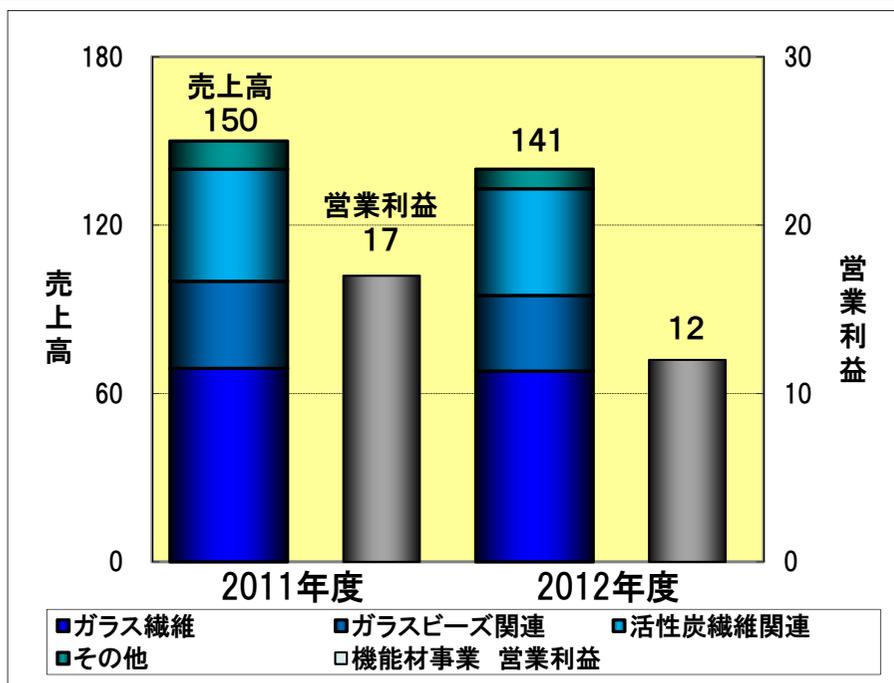
(金額単位:億円)	2011年度	2012年度	増減
高分子事業 売上高	673	612	▲61
フィルム	326	295	▲31
樹脂・他	216	192	▲23
不織布	132	125	▲7
高分子事業 営業利益	96	70	▲26



□フィルム 〔減収・減益〕	<p>◆ 包装分野 震災後の旺盛な需要から一転し在庫調整局面となり、その後回復は乏しく収益は減少。</p> <p>◆ 工業分野 ポリエステルフィルムの需要が全般的に低迷したこともあり収益は減少。</p>
□樹脂・他 〔減収・減益〕	<p>◆ ナイロン樹脂 自動車用途が全体的には堅調。</p> <p>◆ ポリアリレート樹脂「Uポリマー」 情報端末機器用途での新規展開が進むが、電気・電子機器用途、事務機器用途は低調に推移。</p> <p>◆ ポリエステル樹脂他 電気・電子機器用途が低調の一方、環境配慮型の水性エマルジョン「アローベース」の新規用途への展開は進捗。</p>
□不織布 〔減収・減益〕	<p>◆ ポリエステルスパンボンド カーペット用途、建築・土木用途は伸長。衛生材料、農業、一般資材の各用途は低調。輸出も数量が伸び悩む。</p> <p>◆ コットンスパンレース ウェットシート用途の在庫調整により販売数量減少。</p>

ガラス繊維や活性炭繊維などの一部用途は堅調だが、全体的には低調

(金額単位:億円)	2011年度	2012年度	増減
機能材事業 売上高	150	141	▲9
ガラス繊維	69	68	▲1
ガラスビーズ関連	31	27	▲4
活性炭繊維関連	40	38	▲2
その他	10	7	▲3
機能材事業 営業利益	17	12	▲6



□機能材 [減収・減益]

◆ ガラス繊維・産業資材分野
ビル・土木改修用途は堅調。
その他の用途は低調に推移。

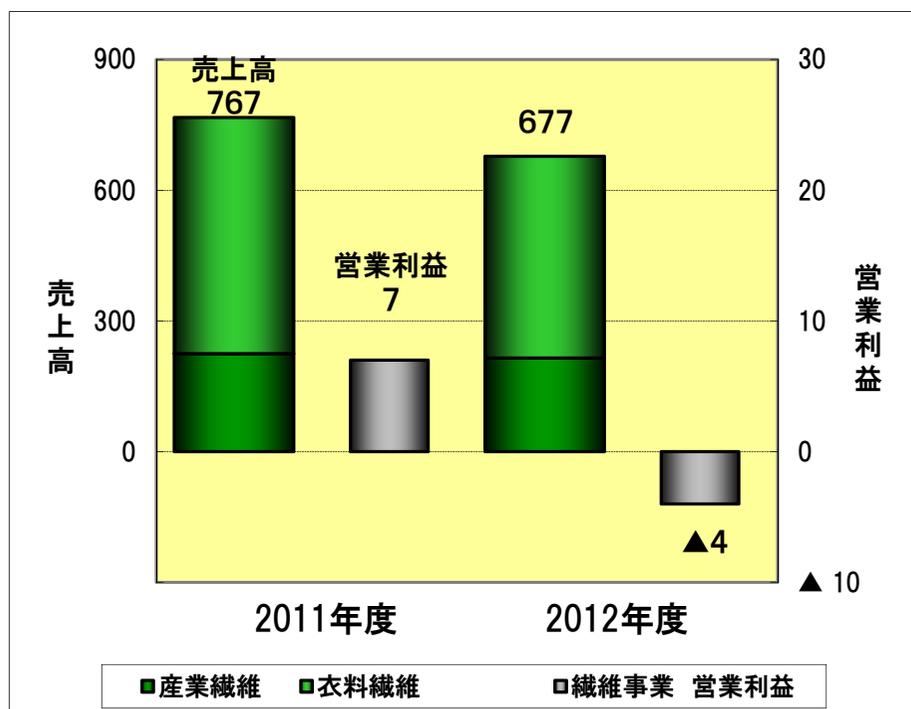
◆ ガラス繊維・電子材料分野
ICクロスは市場での競争が激化したが、差別化品である情報端末機器用途の販売構成を高めたため、採算はやや改善。

◆ ガラスビーズ
工業用途は電子部品など高採算品を中心に販売数量減少。ロードマーキング用途、標識・安全服などの反射材用途も低調。

◆ 活性炭繊維
浄水器用途は引き続き堅調。廃液処理用途やVOC除去シート用途などの需要回復にやや遅れあり。

産業繊維はポリエステル短繊維、ビニロン繊維の収益悪化
衣料繊維はユニフォームなどが堅調、一部の子会社で収益減少

(金額単位:億円)		2011年度	2012年度	増減
繊維事業	売上高	767	677	▲90
	産業繊維	225	215	▲10
	衣料繊維	542	463	▲80
繊維事業	営業利益	7	▲4	▲11



□ 繊維
〔減収・減益〕

◆ 産業繊維

ポリエステル高強力糸は、主力の建築・土木用途で市況回復が見られず低調に推移。

ポリエステル短繊維は、安価な輸入品の流入により販売価格が軟化し収益悪化。

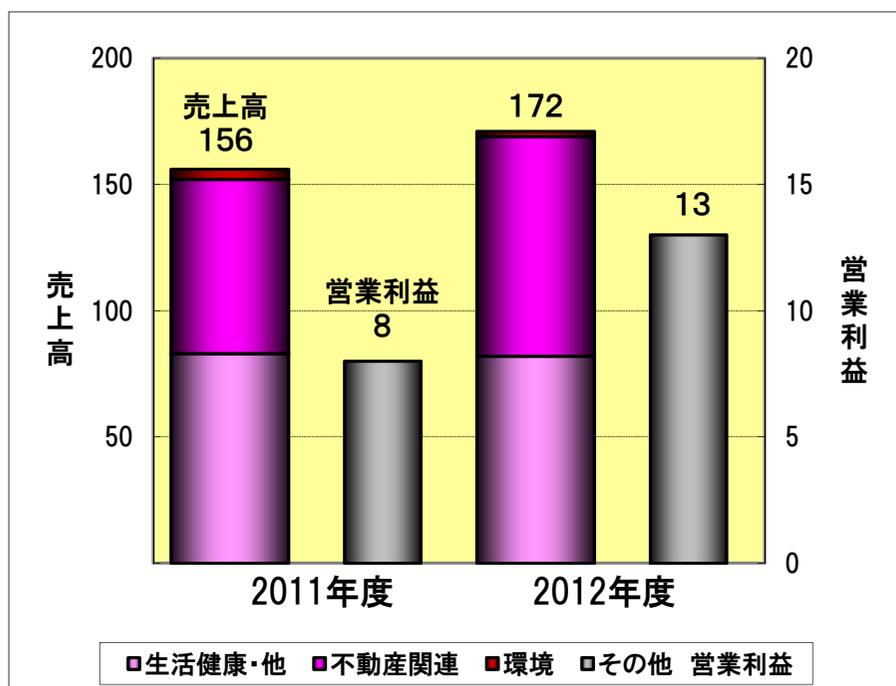
ビニロン繊維は、アスベスト代替FRCで欧州市況の改善が見えない中、新興国市場の開拓・拡販するも価格競争の激化、販売構成の変化により収益悪化。

◆ 衣料繊維

ユニフォーム分野は、サービスユニフォームが堅調。スポーツ分野は、高付加価値品の販売が堅調。レディス分野は、事業の選択と集中により収益改善。一部の子会社では市況の低迷を受け収益は減少。

生活健康・メディカルは収益減少、不動産関連は計画以上に進捗

(金額単位:億円)	2011年度	2012年度	増減
その他 売上高	156	172	15
生活健康・他	83	82	▲1
不動産関連	69	87	18
環境	4	2	▲2
その他 営業利益	8	13	6



□その他 〔増収・増益〕

◆ 生活健康

健康食品のハナビラタケ関連商品は、底堅い需要あり。
機能性食品原料はラクトビオン酸やアラビノースを除き低調に推移。

◆ メディカル

排液系カテーテルの伸長や主力の循環系カテーテルの新製品上市などにより増収、診断薬は堅調、酵素は国内市況の低迷を受け苦戦。

◆ 不動産関連

第4四半期に竣工した物件(マンション4物件)の販売が堅調に推移し収益伸長。

◆ 環境

前期は環境事業の譲渡に伴う一時費用の発生あり。

機能材事業、繊維事業、その他のセグメントで計上

<p>機能材事業</p>	<p>【事業構造改善】 ガラスビーズを用いた反射材を製造・販売する子会社(ユニチカスパークライト(株))について、不採算事業からの撤退に伴う事業構造改善費用を計上。</p>
<p>繊維事業</p>	<p>【事業構造改善】 各種合繊織物の染色加工等を行う子会社(株)アイテックス)の解散に伴う損失を計上。</p> <p>【減損】 ビニロン事業、子会社のユニチカバークシャー(株)に関わる固定資産について損失を計上。</p>
<p>その他</p>	<p>【事業構造改善】 立体駐車設備事業を譲渡中の子会社(ユニチカ設備技術(株))について事業構造改善費用を計上。</p> <p>【減損】 ユニチカリアルティ(株)のショッピングセンター(奈良県大和高田市、大阪府貝塚市)等に関わる固定資産について損失を計上。</p>

1. 2013年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析(2011→2012)
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況
- ・事業構造改善費用と減損損失

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

成長戦略の推進など4つの施策で収益基盤の底上げを図る

(金額単位: 億円)	2012年度実績		2013年度予想		前期比 増減
	上期	通期	上期	通期	
売上高	762	1,602	775	1,650	48
営業利益	23	55	28	75	20
経常利益	5	39	12	40	1
当期純利益 (四半期純利益)	▲9	▲109	2	20	129

与件	2013年度
原油(\$/バレル)	110
為替(円/\$)*	92(買)/85(売)

* 期中の為替変動には適宜対応し進捗をフォロー。

◆ 実態経済の回復への期待はあるものの、上記予想の前提には期待値としての数量回復分は含めていない。厳しい結果となった2012年度実績を踏まえて、①高分子事業などの成長戦略の推進 ②固定費削減を含む徹底したコストダウンの実施 ③低採算事業の収益改善施策の実行 ④原燃料価格上昇に対する価格改定の実施により、収益基盤を底上げし、将来の確固たる事業基盤を確立する。

- 高分子事業を中心に、第1四半期以降順次価格改定の効果を織り込んでいるが、上期前半はコストアップに対する価格改定の効果発現までのタイムラグを見込む。
- 機能材事業や繊維事業では、子会社を含めた構造改善施策や減損処理による効果を織り込む。

セグメント別業績予想

(金額単位:億円)	売上高			営業利益			主な利益変動要因(想定)
	2012年度 実績	2013年度 予想	前期比 増減	2012年度 実績	2013年度 予想	前期比 増減	
高分子事業	612	675	63	70	73	3	<p>インドネシア子会社のナイロンフィルム大型新鋭機が今夏稼働開始。</p> <p>新規開発の水性エマルジョン「アローベース」の拡販。</p> <p>二成分複合型スパンボンド「エルベス」の需要回復。(新規用途展開 キャンピングシートなど)</p>
機能材事業	141	145	4	12	15	3	<p>ICクロスの差別化品である携帯端末機器用途の販売構成比アップによる収益改善。</p> <p>活性炭繊維の廃液処理用途の海外展開強化。</p> <p>ユニチカスパークライト(株)の事業構造改善効果発現。</p>
繊維事業	677	660	▲17	▲4	8	12	<p>ビニロン繊維等の減損や事業構造改善施策による効果、海外子会社の収益改善により、黒字転換。</p>
その他	172	170	▲2	13	12	▲1	前期好調の不動産関連がやや減少等。
消去・全社				▲36	▲33	3	
合計	1,602	1,650	48	55	75	20	

事業構造改善効果等含む。

事業構造改善効果等含む。

1. 2013年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析(2011→2012)
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況
- ・事業構造改善費用と減損損失

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

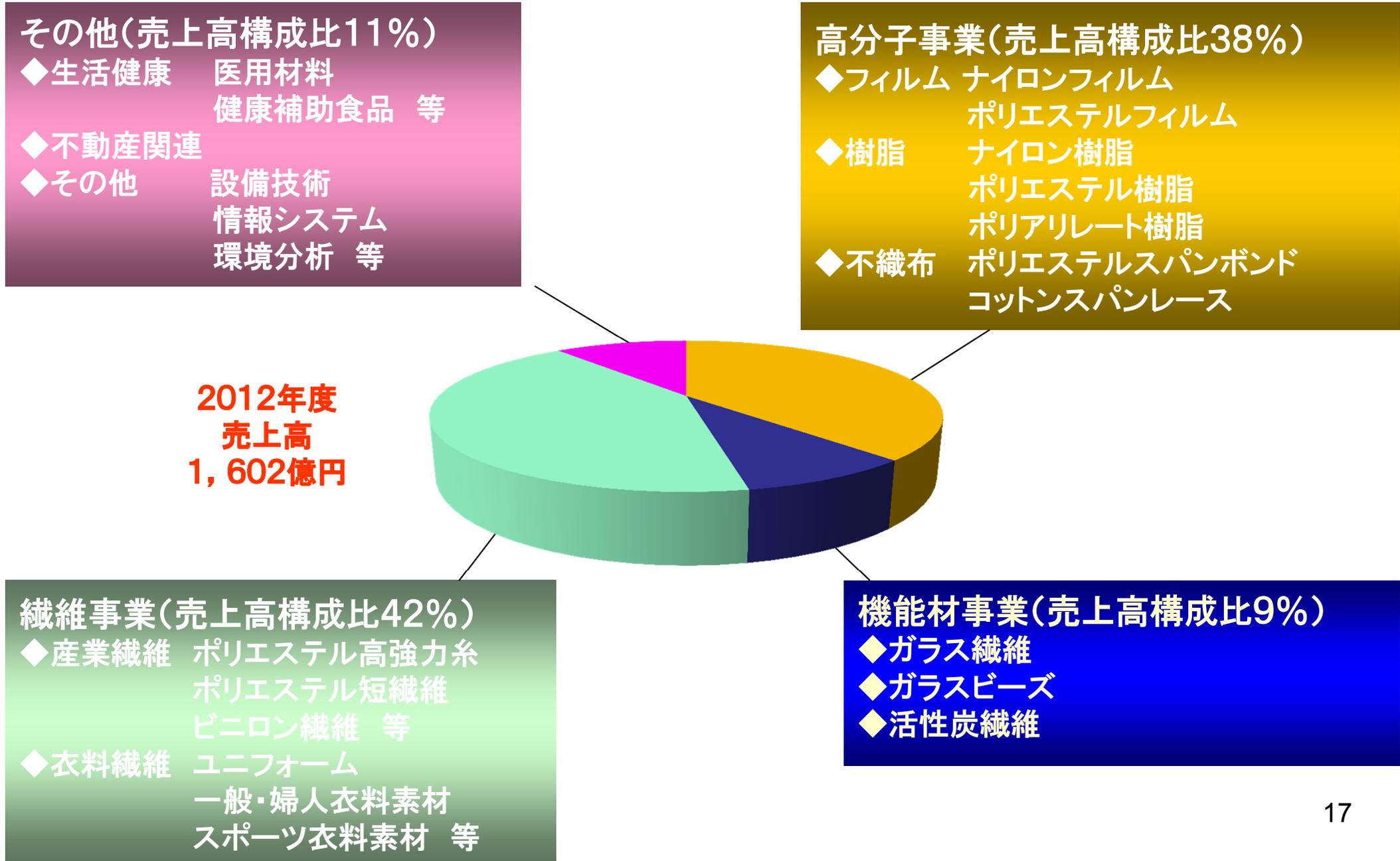
補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

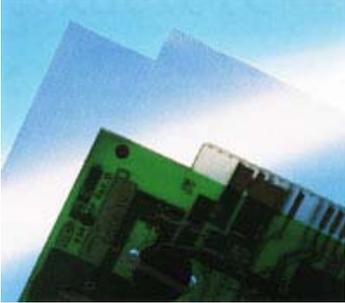
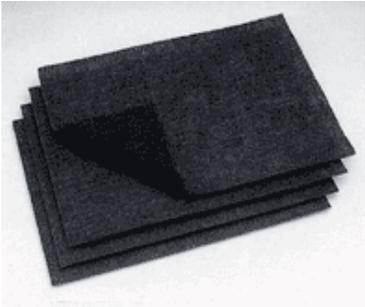
「エルベスキヤッピングシート」 東日本大震災被災地域で採用開始



- ◆復興地域再生支援チームが提案した「エルベスキヤッピングシート」が、除染廃棄物仮置き場で廃棄物を覆うガス透過性防水シートとして福島県南相馬市などの被災地域で採用開始。
- ◆防水シートとして初めて公益社団法人日本材料学会の技術評価証明を取得。
- ◆復興地域再生支援チームは、今後も放射線測定から廃棄物処理、除染に役立つ製品を積極的に展開し、復興地域の再生をサポート。



	フィルム	樹脂	不織布
主要 製品 (用途)	<p>包装</p>  <p>工業</p> 	<p>自動車 部品</p>  <p>精密機器</p> 	<p>カーマット基布</p>  <p>生活雑貨</p>  <p>エルベスキッピングシート</p> 
	<p>◇ナイロンフィルム ◇ポリエステルフィルム</p>	<p>◇ナイロン樹脂 ◇ポリエステル樹脂 ◇ポリアリレート樹脂</p>	<p>◇ポリエステルспанボンド ◇コットンспанレース</p>

	ガラス繊維	ガラスビーズ	活性炭繊維	
主要製品 (用途)	 <p>車両電照カバー</p>  <p>産業用ガラスクロス</p>	 <p>ICクロス (プリント基板用)</p>	 <p>ロードマーキング</p>	 <p>活性炭繊維フィルター</p>

	産業繊維	衣料繊維
<p>主要 製品 (用途)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>産業資材用 ポリエステル繊維</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビニロン繊維 (セメント補強用途)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>放射線遮蔽防水シート</p> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ユニフォーム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>婦人衣料</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>スポーツ衣料</p> </div>
	<p>◇ポリエステル高強力糸 ◇ポリエステル短繊維 ◇ビニロン繊維</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>◇ユニフォーム ◇一般・婦人衣料素材 ◇スポーツ衣料素材</p> <p style="text-align: right;">等</p>

主要 製品 (用途)	 <p>抗血栓性 カテーテル</p>	 <p>創傷被覆保護材 ベスキチン</p>	 <p>マンション事業</p>	 <p>ヒーティング システム</p>	 <p>ソフトウェア設計</p>
	 <p>健康補助食品</p>	 <p>放射能測定</p>			
	<p>◇生活健康 医用材料、健康補助食品 等</p>		<p>◇不動産関連</p>	<p>◇設備技術 ◇情報システム ◇環境分析 等</p>	

※シェアは当社推定

	製品	国内 シェア	主な用途	当社の強み
高分子	ナイロンフィルム	50%弱 (1位)	食品包装用 (世界シェア1位)	同時二軸延伸技術 クイックデリバリー
	ポリエステルスパンボンド	40% (1位)	自動車内装、建築、土木 農業資材、衛生材料、生活資材	複合繊維化技術
	コットンスパンレース	60% (1位)	衛生材料、生活雑貨	バインダーレス 天然素材の風合い
	ポリアリレート樹脂	当社独自	自動車部品、電気・精密機器部材	耐熱性・透明性
機能材	ガラスクロス(産業用)	30% (2位)	フィルター素材、FRP用、建築 土木資材	製織・製織技術
	ガラスビーズ	35% (2位)	各種反射材、工業用ビーズ	商品の品揃え
繊維	ポリエステル短繊維(バインダー)	60% (1位)	建材、家具、自動車内装向け不織布原料	複合繊維化技術

ご注意

本資料中の予想は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいております。実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。